

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公

討議年月日 令和 7 年 3 月 12 日

公表 令和 7 年 3 月 31 日

事業所名

シャイン

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			スペースを確保し、場合によって別室も使えるようにしている。
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			規定の職員数を確保している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		<input type="radio"/>		事業所が2階の為重身のお子さんは受け入れていない
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			利用者が来る1時間前には職員で集まり話し合っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			ミーティングの際に参考にしている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			ホームページで公表している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>			外部の研修にも参加している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			話し合いの機会を定期的に設けてそこで得た情報を反映させている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			ベースとなるものを作り、職員全員で話し合った意見を反映させるようにしている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>			外部講師を招いた体験学習や課外活動も行っている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>			平日と休日で行う事を分けて無理のない支援を設定している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			共同活動として月に1回の絵を完成させるプログラムを行っている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>			支援開始1時間前にミーティングを行いその日の課題、分担などを決めている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>			送迎終了後のミーティングを行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>			活動日誌や課題評価表を作り、支援の改善に役立てている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			児童発達支援管理責任者がモニタリングを行い、職員と情報共有をして判断している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>			5領域を意識した支援を行っている

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>			担当者会議は職員とミーティングを行ったうえで児童発達支援管理責任者が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>			事前に予定表をもらって送迎時間を調整している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている				該当者なし
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				該当者なし
	25	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>			連絡帳や送迎時に日頃の状況を伝え合い職員間で情報共有している
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>			保護者面談を行い支援について話し合っている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>			契約時に説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>			要望があった場合には保護者面談を行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>			マニュアルに沿って担当者が対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>			長期休みの際にお便りを発行している
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>			ファイルにまとめて施設内に鍵付きで保管している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>			視覚的に分かりやすい資料を作成するなど対応している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		<input type="radio"/>		

非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>			
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>			避難計画を市に提出し、計画書に沿って避難訓練を行っている
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>			代表者が外部の研修に参加し、社内ミーティングで情報共有している
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>			契約時に保護者へ説明し、了解を得ている
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				該当者なし
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>			事業所内で保管し、職員がいつでも確認できる状態にしている